

## HOTOPICS 1

### 自民党三重県支部に要望書を提出

7月1日(月)午前、中央会は、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会の各代表とともに、自由民主党三重県支部連合会を訪れ、3団体連名による「要望事項 平成25年度重点項目」を提出し、「中小企業振興対策の一層の充実・強化」、「中心市街地・商店街等の活性化対策及び地域振興の推進」、「雇用問題等労働対策の充実」等について要望しました。



## HOTOPICS 2

### 「中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化」など要望事項を審議 ～平成25年度専門委員会を開催しました～

当中央会では、7月9日(火)に専門委員会を開催し、「第50回中小企業団体三重県大会」並びに「第65回中小企業団体全国大会」に提出する国及び県等に対する要望事項として、総合、組織・制度、金融、税制、商業・流通、労働の6項目について審議しました。主な内容は次のとおりです。

#### 【総 合】中小企業施策の推進並びに予算の充実・強化

最近の中小企業を取り巻く経営環境は、アベノミクスによる大胆な金融緩和と機動的な財政政策により為替は急激に円安になり、一部輸出関連大企業の業績や生産は持ち直しているものの、県内中小企業は原材料高と原油高によるエネルギーコスト上昇分を価格転嫁できず、経営は厳しい状況にあることから、中小企業に対し引き続き適時・適切な中小企業対策を実施すること。その他次の項目について審議しました。■海外展開支援の拡充、■官公需施策の拡充・強化、■三重の木、あかね材の需要拡大支援策の拡充、■円安是正及び原油価格の上昇対策、■安価で安定した電力供給の実現、■太陽光発電システム補助金について、■メタンハイドレート商業化対策、■エコカー補助金の復活、■道路交通法の緩和



#### 【組織・制度】中小企業組合制度の改善 1項目

①役員選挙方法における指名推選、②員外利用制限、③出資制限、④商店街振興組合における員外理事の制限、⑤企業組合の従事比率の緩和などについて組合制度の改善を図ること。



#### 【金 融】融資慣行の見直し など4項目

国は、中小企業に対する固定資産等の物的担保及び人的保証を優先する金融機

関の融資姿勢を改め、企業の知的資産や経営者の経営能力等を加味したものにすること。



#### 【税 制】中小企業関係税制の一層の充実・強化 など7項目

中小企業組合及び中小企業の経営基盤強化と積極的な事業展開を促進するため、税負担の軽減と中小企業が不利にならないよう、関係税制の充実・強化を図ること。



#### 【商業・流通】商店街活性化への支援

など5項目

商店街が賑わいを取り戻し、まちの中心地として活性化するためには、国・県・市及び町、地域事業者と大型店等が一体となったまちづくりを行う必要があるので、「地域商店街活性化事業」、「商店街まちづくり事業」は、平成25年度以降も継続して実施すること。



#### 【労 働】協会けんぽの保険料率の引き下げ など6項目

医療費の増加傾向が続く中、協会けんぽの赤字体質は改善されず、保険料率は数年連続して引き上げられ、他と比較すると高率となっているので、引き下げること。

## HOTOPICS 3

## 地域コミュニティの復活に向けて 平成25年度商店街活性化会議を開催しました。

当中央会では、7月25日(木)、県内各市町の商店街組合等の担当者を対象に津市で商店街活性化会議を開催しました。

商店街の成功事例研究として、勝川駅前通商店街振興組合 副理事長 水野隆氏を講師に招き、「地域コミュニティの復活に向けて～勝川駅前のまちづくりに学ぶ～」をテーマに再開発事業により地域のコミュニティがなくなったので平成14年度から毎月第3土曜日に「弘法市」というイベントを開催して、出会い・ふれあいの場の提供、ボランティアの

活用等を行う事例発表と、株式会社全国商店街支援センター 支援事業担当 マネージャー 春名 芳郎氏による「株式会社全国商店街支援センターの事業概要と活用事例について」をテーマに商店街支援策の研究があり、その後、意見交換を行いました。



## HOTOPICS 4

## 航空宇宙産業への参入について ～中央会夏期セミナーを開催～



7月29日(月)津市で、組合役職員等約60名が参加し、一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター コーディネーター 古澤 正人氏を講師に迎え、「航空宇宙産業の近況と中部地域の取り組みについて～中小企業の参入課題～」をテーマに夏期セミナーを開催しました。

古澤氏は、日本の航空宇宙産業の現状は、航空機全体の生産額のうち、機体が6割、エンジンが3割、装備品が1割であり、従来、大手企業が行っていましたが、最近では、100人乗り

以下の中型機へ参入する企業があり、単独企業ではリスクも高いが、機体だけでなく、エンジン等も分担して共同開発が繰り返されていることを説明し、参入課題として、高度な技術力、品質管理システムの整備認証取得の必要性、英語コミュニケーションが必須、取引ボリュームが小さい、参入タイミングが希少、長期の資金負担と供給責任を挙げました。

また、三重県が、国に対し5市町(いなべ市、桑名市、鈴鹿市、伊勢市、木曽岬町)を「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の指定区域に拡大申請中であり、中小企業の技術力を生かすことができる魅力ある新しいモノづくり産業であると説明しました。

## HOTOPICS 5

## 平成24年度補正地域中小企業の人材確保・定着支援事業 三重の合同企業説明会を開催しました。

当中央会は、8月8日(木)、津市で、「三重の合同企業説明会」を開催しました。

製造業、卸・小売業、サービス業等の県内中小企業等40社に対し、学生206名が参加し、各ブースで採用担当者からの企業説明を熱心に聞いていました。

また、別に設けられた職業紹介コーナーでも、希望職種や

勤務地等について説明やアドバイスを受けていました。

